

平成 24 年 10 月 12 日
外部コーチ：岩澤 基

「来たぞ！」と「来てしまった！」は違う

一つ上のレベルの多摩西地区大会で感じたことですが、多くの人が会場雰囲気に飲まれ、勝利の女神が何回も通り過ぎました。

勝利の女神は、誰にでも立ち寄りますが、なぜつかむことが難しいのでしょうか？
原因是、心の準備不足です。

まず、団体戦メンバーの校内選抜で、あれほど自己アピールや闘争心を燃やしたにも関わらず、試合前の対戦メンバー選抜の頃になると、自己アピール力がなくなります。
対戦メンバー選抜基準は、試合に出してくれという自己アピール力（試合に出て暴れたいという自信に満ちた態度等）を重視しています。
この時点で、弱気な発言や顔色がたくさん出ている人は外します。

プレーにおいても、DF や簡単なミスを連発する人は、大きな声を出して自分とペアを奮い立たせながら、ベンチで応援する人と一緒に楽しむことができません。

選抜メンバーに選ばれた時に、「来たぞ！」と燃える気持ちが出れば OK ですが、「来てしまった！」と消極的な気持ちが出れば NG です。

2ND サーブを打つ時や正面ボレー・チャンスボールが来た時に、「来たぞ！」と燃える気持ちが出れば OK ですが、「来てしまった！」と消極的な気持ちが出れば NG です。

これらの場面で、獲物（勝利の女神）を見つけた野獣のように心の準備「来たぞ！」ができれば、勝利の女神は立ち止まるのです。

つまり、普段の練習から心の準備「来たぞ！」のスイッチを意識したプレーをすることが重要です。

また、団体戦メンバー以外の人は、次の機会には自分がここに立つというイメージを持って応援し、上手い人のプレーを盗んでやるという気持ちを持つことが、心の準備「来たぞ！」につながります。

「来たぞ！」「来たぞ！」の回数が増えれば、勝利の女神はどんどん出現します。